

隠岐の島町ふるさと納税推進事業委託業務プロポーザル評価要領

1、趣旨

本要領は、隠岐の島町ふるさと納税推進事業委託業務を実施する事業者をプロポーザルで特定するにあたり、隠岐の島町ふるさと納税推進事業委託業務プロポーザル募集要領に定めるもののほか、最優秀提案者、優秀提案者を選定するための評価基準を示すものである。

2、評価方法

本要領に基づいて企画提案書審査においてプレゼンテーション及びヒアリングを行い、隠岐の島町ふるさと納税推進事業委託業務に関する公募型プロポーザル審査委員会（以下「委員会」という。）の審議により最優秀提案者1名、優秀提案者1名を選定する。

（1）企画提案審査

①実施方法

- ・プレゼンテーション20分以内
- ・質疑応答10分以内
- ・プレゼン等には業務責任者の出席を必須とし、出席者は3名以内（パソコン操作員含む）とする。
- ・プレゼン等は公開とし、出席する者は参加者を特定できる表示をしてはならない。
- ・パワーポイント等の画像の投影については、その内容が企画提案書に合致し、提案内容の理解を助けるものである場合に限り認める。プロジェクター及びスクリーンは用意するが、その他の機器は各自で用意すること。

②審査の項目、評価基準、配点

審査の項目、評価基準、配点については別紙の通りとする。

③審査結果の通知

全ての参加者に電子メール及び文書で通知する。

評価基準表

審査項目		評価基準	配点					
			極めて 良好	良好	普通	やや不 十分	不十分	得点
実施体制・履行能力	実施体制及び導入計画	業務の履行を適正かつ確実に遂行する体制を備えているか。	5	4	3	2	1	
		業務委託後、本格運用までの導入計画が適切で、2019 年 10 月に業務を開始することが確実か。	5	4	3	2	1	
	個人情報保護対策	個人情報の漏えいを防止するための対策が講じられており、それが有効性のあるものとなっているか。	5	4	3	2	1	
提案内容の妥当性	寄附情報の一元管理	寄附情報を一元で管理できる寄附者情報システムの導入が可能か。	5	4	3	2	1	
		寄附者情報システムは現在本町が利用しているふるさとチョイスから抽出した寄附情報を取り込み、管理することが可能か。	5	4	3	2	1	
		本町が寄附者情報を一元的に把握できるシステムとなっているか。	5	4	3	2	1	
	寄附者の利便性	提案された申込方法、決済方法は多様で寄附者の利便性があるものか。	5	4	3	2	1	
		寄附者からの問い合わせ等の対応は十分にとれる体制か。	5	4	3	2	1	
		寄附者に謝礼品が届くまでの体制が十分に構築可能か。	5	4	3	2	1	
	謝礼品及謝礼品取扱業者	本町の魅力を十分に理解し、その魅力を発信するための、本町ならではの新たな謝礼品の開発、拡充が可能か。	10	8	6	4	2	

		謝礼品の発注、在庫状況、配送状況の確認など謝礼品取扱事業者との連携方法は十分なものとなっているか。	10	8	6	4	2	
	本町の PR 支援	本町の魅力発信やふるさと納税に係る効果的な PR を実現することが可能か。	5	4	3	2	1	
		寄附者を呼び込むための手法（カタログ、パンフレット）の提供は可能か。	5	4	3	2	1	
	ふるさと納税の活用促進に係るコンサルティング	企画提案者の提案するふるさと納税制度を活用したコンサルティング業務は本町のふるさと納税の推進に寄与するものと言えるか。	5	4	3	2	1	
	寄附金額の拡大に係る自社の優位性	企画提案者の提案及び強みは、本町のふるさと納税の寄附金額の拡大に効果がある対策といえ、優位性を有しているか。	10	8	6	4	2	
		3カ年で寄附金額が拡大することが見込まれるか。	10	8	6	4	2	
	合計点(100点)							